

ねぶたラッセランドとねぶたガイド

ラッセランドは、22個のテントのような作成小屋が集まった場所で、それぞれは12×12メートルの広さで7メートルの高さがあり、ねぶたの山車の最上部の装飾はねぶた師（ねぶた職人）と彼らのアシスタントの手によって組み立てられます。この施設は、青森観光情報センターのある建物である、三角形の形をしたASPAMの隣に位置しています。作成小屋は5月下旬に建てられ、祭の最終日である8月7日に、再び取り壊されます。一般の方に向けたガイドツアーが、7月1日から8月6日には行われます。装飾の比較的小さな部分は、ねぶた師のスタジオで作成されますが、組み立てるためにラッセランドへと移されます。ねぶた祭の間、小屋は開放されているので、観光客は日中、間近で山車を見て驚く体験ができ、写真も多く撮るチャンスです。

ねぶた前夜（8月1日）祭も、ラッセランドで行われます。ねぶた前夜には、公に初めて山車が立ち上げられ、囃子が伝統的な音楽を合わせて演奏します。訪れた人々は、屋台で食べ物を楽しんだり、職人や参加者たちが次の日に向けて準備している様子を見ることができます。